

形式：対面セミナー	補足：配信はありません。会場にお越しの上、ご受講ください（会場が未定の場合は、お手数ですが、Web ページでご確認ください）
ジャンル：化粧品	講習会コード： t d s 2 0 2 5 0 5 1 5 n 1

開発段階から原材料の受入れ、最終製品の出荷前といった各工程で必要となる官能検査について、検査項目や商品形態、工程毎に押さえておくべきポイントを解説します。官能検査員の訓練方法や結果を補完するための代替評価法も紹介します。

化粧品の官能検査の効率的な活用方法と進め方

元（株）資生堂 掛川工場・大阪工場 技術部長 鈴木 欽也 氏

1980 年早稲田大学理工学部卒業後、(株)資生堂に入社。掛川工場で検査、処方開発・生産技術開発を担当（約 11 年間）。その後、本社生産技術部で海外事業戦略、海外工場建設、生産技術移転、海外薬事対応、海外原料・資材・製品調達の業務を担当（約 10 年間）。中国北京工場の取締役工場長（約 3.5 年間）、掛川工場技術部長、大阪工場技術部長を担当（合計 7 年間）、(株)コスモビューティー執行役員 品質管理部長としてベトナム工場、中国工場を建設。過去には、米国 O T C 製品の化粧品業界で日本国内初の F D A 査察を受け入れ、指摘事項ゼロ件での対応やヒアルロン酸のヨーロッパ原薬登録・米国 F D A 登録、ヒアルロン酸の原薬工場棟の増設を責任者として推進した経験を持つ。公害防止管理者（水質 1 種、大気 1 種）、中小企業診断士（埼玉県正会員）、F R 技能士、ターンアラウンドマネージャー（事業再生、（一社）金融検定協会認定）。

- 日 程 2025 年 5 月 15 日（木） 10：30 ～16：45
- 会 場 東京 ※都内中心部で調整中
- 受講料 36,300 円（税込） ※4/15（水）までにお申込の場合、**32,670 円（1割引）**となります

<プログラム>

1. 化粧品における効果効能と商品コンセプト

- 1.1. 化粧品の効能の範囲と表現の規制
- 1.2. 化粧品の代表的な使用感の評価項目
 - 1) スキンケア保湿製品
 - 2) スキンケア賦活製品
 - 3) スキンケア洗浄用製品
 - 4) ファンデーション
 - 5) アイシャドー
 - 6) 口紅
 - 7) シャンプー
 - 8) リンス
- 1.3. 外装に関する官能的要素
- 1.4. 原料と製品の使用感への影響（事例：保湿剤）

2. 化粧品における官能検査の応用

- 2.1. 商品開発における官能検査の進め方
- 2.2. 外装設計における外観評価と受入れ試験
- 2.3. 原料における官能検査項目と進め方
- 2.4. 製品検査における官能検査項目と進め方

3. 色に関する基礎的知識

- 3.1. 発色方法
- 3.2. 色の種類
- 3.3. 色の表現の仕方
- 3.4. 代表的な色とイメージ
- 3.5. 測色方法

4. 香りに関する基礎的知識

- 4.1. 揮発性（トップノート、ミドルノート、ベースノート）
- 4.2. においの感じ方と特徴
- 4.3. においの数値化

5. 官能検査員の訓練法

- 5.1. 色
- 5.2. におい
- 5.3. 使用性

6. 生産工程における官能検査の応用

- 6.1. 異物検査
- 6.2. 乳化状態
- 6.3. 調色（色素系、顔料系）
- 6.4. チキソトロピー性の評価
- 6.5. 外観検査（異種混入、栓の斜め掛け）
- 6.6. セットミス防止（シール貼付、セット品）
- 6.7. 製造記号捺印（可読性、文字間違い）

7. 官能検査の代替試験法（事例）

- 7.1. 粘度、硬度、たれ
- 7.2. 保湿性
- 7.3. 平滑性・すべり

8. 官能検査要素と市場クレーム（事例）

- 8.1. 色の変化と商品イメージ
- 8.2. メーキャップ製品の色のバラツキ
- 8.3. 化粧品の外観異常とクレーム発生に関する事例

9. 官能検査における統計的手法の応用

- 9.1. 2点識別法
- 9.2. 3点識別法

10. 官能検査の制約と有効的な利用方法

<講義概要>

近年、美容意識の向上と健康志向の拡大により化粧品市場が急速に成長しています。また、顧客は単なる改善だけでなく、肌に優しく、持続的な効果や使用により満足感を得ることができる化粧品を求めています。一方、化粧品の効果を主張する際には科学的な根拠が不可欠です。但し、化粧品においては、単に成分の配合量や物理的性質だけでは十分な評価ができません。感性に基づく評価や目視による外観の検査等の官能検査が必須です。そのため、化粧品の開発や生産においても官能検査が各工程で実施されています。

そこで今回のセミナーでは、講師の豊富な経験に基づき、製品の開発段階から原料や材料の受け入れ検査、生産工程でのライン検査、最終製品の出荷前検査など、各工程における製品の安全性と有効性を確認するための官能検査の方法について解説いたします。併せて、官能検査はひとによる検査のため結果の再現性面で懸念が持たれることから、官能検査を補完する代替評価法についても事例を紹介します。顧客に安心して使用していただける製品を提供するための知識と技術を共有します。

<お申込要項>

下記に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください（※は必須です）

FAX
03-6261-7924

申込講座	2025/5/15 化粧品の官能検査の効率的な活用方法と進め方		
会社名※			
所在地※ （請求書等の送付先）	〒		
参加者①	氏名※		TEL※
	所属※		FAX
			役職
	Email※		@
	会員登録	☐ 登録する ☐ 登録しない （登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します）	
参加者②	氏名※		TEL※
	所属※		FAX
			役職
	Email※		@
	会員登録	☐ 登録する ☐ 登録しない （登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します）	
支払方法※	☐ 銀行振込（紙請求書） ☐ 銀行振込（PDF 請求書） ☐ カード支払い ☐ 未定のため後日連絡する		
支払予定日※	☐ [] 月 [] 日ごろを予定している ☐ 未定のため後日連絡する		
備考※			

お申込について

① 以下のいずれかの方法でお申込みください

A	FAX	上記に必要事項をご記入の上、送信ください
B	E-mail	送信先：entry@tech-d.jp メール本文に<①【申込講座】②【会社名】③【所在地】④【氏名】⑤【所属】⑥【Email】⑦【TEL】⑧【支払方法】、⑨【支払予定日】>をご記入の上、ご送信ください
C	Web	https://tech-d.jp/ の各講座のページからお申込みください

② お申込受付後、受付完了のご連絡（メールまたはお電話）をいたします

③ 請求書等をお送りいたします

<注意>

① お申込後 1 週間たっても受付完了の連絡がなかった場合は、お手数ですが、弊社までご連絡ください

② 開催日の 7 日前以内のキャンセルはお受け致しかねます。必要に応じ代理の方のご出席をお願いいたします

お支払について

<期日>

受講料は講習会開催日の翌月末日までにお支払いください

※期日までに間に合わない場合は、対応いたしますのでご一報ください

<方法>

① 銀行振込（振込手数料は御社にてご負担願います）

② クレジットカード（支払方法はメールでご案内します）

【お振込先】

振込先銀行	三井住友銀行
支店	多摩センター支店（909）
口座番号	（普） 0 9 7 3 5 2 2
名義	株式会社テックデザイン

主 催 申込・問合せ先	名 称	株式会社テックデザイン（ http://www.tech-d.jp/ ）		
	住 所	〒102-0074 東京都千代田区九段南 3-9-14 九段南センタービル 5 階		
	電 話	03-6261-7920	FAX	03-6261-7924
	E-mail	entry@tech-d.jp（申込） / info@tech-d.jp（問合せ）		